

# 圓福寺報



圓福寺報 第七十五号  
 令和元年七月十五日発行  
 発行者 臨濟宗妙心寺派 圓福寺  
 千葉市稲毛区六川町三七五 TEL (二五二) 九一八一  
<http://www.chiba-empukuji.com>  
 E-mail: oshou@chiba-empukuji.com

右上「不識」(ふしき) 元妙心寺派管長 京都圓福寺 擔雪軒西片義保老師  
 左下「だるま図」 京都圓福寺 蒼龍窟加藤月叟老師

インドからやってきた達磨さんに、中国・梁の武帝が「あなたはいったい誰ですか?」と問答を仕掛けたのに対して、達磨さんが「不識」(わかりません)と答えたという話があります。

## 目次

ほとけさんの心シリーズ(その三) 「普賢菩薩」 ふげんぼさつ	2
「僧堂で何してる?」その六 ——修行道場の生活	6
檀信徒のための 新本堂・書院の使い方	8
一、法要会場として	10
二、葬儀会場として	12
三、結婚会場として	13
別世帯の家族に、 寺報を送りませんか?	13
墓地の空きがあります。	13
平成三十年度花園会会計報告	13
三巡目第六回	14
四国あるき遍路の旅	19
三巡目第七回遍路参加者募集 お寺と和尚の日録抄	20
六川花園幼稚園 園だよりから 「緑のとこやさん」	21
東京教区「お授戒のすすめ」 第二十回 妙心寺派夏季講座 参加者募集のお知らせ	23
地藏盆のご案内	24

ほとけさんの心シリーズ(その三)

「普賢菩薩」

■ 仏像の種類

シリーズ三回目になって、いまでもありますが、仏像には様々な種類があります。五百羅漢といえ五百体、五百種類の仏像がありますし、京都の三十三間堂に行けば千三十二体の仏像に出会うことができます。その仏像を大別すると、四つに分類することができます。まずは、「ナンマイダブ」とおとなえする阿弥陀如来、圓福寺本尊の釈迦如来などの「如来」で、ご修行を完成された仏様。



次に、地藏菩薩、観音菩薩、文殊菩薩など、まだ修行中であつたり、修行は終わられていないのに、たくさんのお衆生を救うために私たちの身近にいらっしゃる「菩薩」様。



そして、お不動さんと言われる不動明王、トイレの仏様の烏枢沙摩(うすさま)明王などの「明王」のグループ。最後に、圓福寺庫裡の玄関に祀られている「韋駄天」様や、柴又で有名な「帝釈天」などの、「天」部の仏様。以上、仏像は如来・菩薩・明王・天の四つに分類されます。

■ 仏像の特徴

今では、偉い人が亡くなったりすると銅像を作るなんて違和感がありませんし、各地に功績のあつた人の像を目にすることがありますが、お釈迦様が亡くなられた後、お弟子さんや信者さんは、あんな立派な方の像を作るのは失礼にあたるというので、仏舍利を納めた塔を拜んだりしておりました。時代が下ってくると、お釈迦様の物語が壁面に彫られたり、お説法の場面や教えを彫るようになりました。そして、お釈迦様そのもののお姿を仏像にし始めるのは、お釈迦様が亡くなって三百年ほどたってからのことだそうです。



お釈迦様が仏像の原点であることは自然なことですが、四種類ある仏像をどのようなお姿にするか、服装はどうするか、髪型は・・・となります。

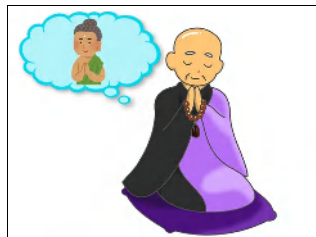
### 如来像の特徴

まず如来像は、完成された仏様だからお釈迦様の一番尊いお姿がふさわしいだろうというので、出家されて修行されていたころや、お悟りを開かれてお説法して歩かれていたころのお姿をモデルにすることにしました。



出家の姿は、インドでは「サリー」という布一枚まとった姿です。インドに行けば街中でサリーにする布がたくさん売られているようですが、出家した僧は、托鉢でぼろきれをいただいで、それをつなぎ合わせて一枚の布にして身にまとうていたようです。人々がぼろぼろになって、最

後にはおしりを拭いて捨てるような布きりで作った僧衣というので、「糞掃衣」(ふんそうえ)とも言います。日本ではそれが「袈裟」という形になりましたが、ぼろきれをつなぎ合わせたといういわれから、今でも「袈裟」はわざわざつぎはぎして作られています。言ってみれば、パッチワークの元祖でしょうか。「如来」は、サリーとか袈裟といった布をまとったお姿をしています。



### 菩薩像の特徴

「菩薩」のお姿は、お釈迦様が王子の頃の服装をモデルにしていて、王子様として華やかなパティに出るときの服装できらびやかです。頭に宝冠を載せたり、体中に装飾品をつけたお姿を見たら「菩薩」と思っていたら間違いではないようです。

### 明王像の特徴

「明王」は、お釈迦様が青年の

頃の勇ましい姿を模していて、行動的に動き回るように、頭に宝冠などはありません。上着も邪魔になるので腰に巻きつけた姿です。

### 天部像の特徴

最後の「天」部は、お釈迦様の家来や次女がモデルとなり、鎧兜に武器も携えていたりします。

仏像に手を合わせるときに、菩薩なのか如来なのかを知る手がかりとして、服装の特徴で分類してみました。

### 文殊菩薩

前置きが長くなってしまいました。今回の「普賢菩薩」のお話を始めさせていただきます。



圓福寺の本尊様はお釈迦様で、本堂再建にあたりあらたに招来して、落慶法要で開眼供養をさせて



いただきました。以前は、釈迦三尊としてお釈迦様だけではなく、両側に脇侍仏（わきじぶつ）として、右に普賢菩薩、左に文殊菩薩を祀っておりました。三尊仏としてお祀りする形は、阿弥陀如来にもあり、阿弥陀三尊といえば右に勢至菩薩、左に観音菩薩となつています。

### ■普賢菩薩の願い

では、それぞれ何の仏さんなのかというと、文殊菩薩は、「三人寄れば文殊の智慧」ということわ

ざからもわかるように、智慧の仏さんで、受験シーズンに忙しくなる仏さんです。一方、普賢菩薩はというと、いったい何の仏さんなのか、それを知る糸口すら身近には見当たりません。

観音経は観音様の働きを説くお経ですから、普賢菩薩の働きを説くお経はなにかというと、「華嚴の十大願」と出ていることがわかりました。それによれば、「まさに十種の広大の行願を修すべし。なんらかを十となす。一には、諸仏を礼敬す。二には如来を称讃す。三には広く供養を修す。四には業障を懺悔す。五には功德に随喜す。六には転法輪を請す。七には仏住世を請う。八には常に仏の学に随う。九には衆生に恒に順ず。十には普くみな廻向す。」とあります。「行願」、つまりは「強く願うと、いてもたってもいられず行動が起きる。」あるいは「行動を起こす。」そんな願いをつかさどる仏さんだと言います。

さらに、華嚴経の一番大切な部分を探ったという「探玄記」で

は、「普賢は三昧自在、文殊は般若自在」と言っています。三昧（ざんまい）は、「仕事三昧」とか「読書三昧」とかの言葉があるように、一つのことに集中する、精神を統一して一つのことに取り組むということで、ほかにも「ゼいたく三昧」「温泉三昧」などとも言ったりします。

### ■ナズナ花咲く垣根かな



松尾芭蕉の有名な詩に、「よく見れば、ナズナ花咲く、垣根かな」というのがあります。説明するまでもありませんが、花見の時期、世間では桜さくらとみんな浮かれて騒いでおります。その騒ぎにおどろされて、じゃあ俺も出かけてみようかと外に出てみました。その時に、ふと垣根の根元に目が行った。すると、そこにナズナの花が咲いているのでは



文殊菩薩は象に乗っているの  
で、たとえ話に獅子をあげるの  
はふさわしくないかもしれませ  
んが、禅に「金毛の獅子」とい  
うお話があります。

### ■金毛の獅子

普通の獅子は、大きな象や素  
早い鹿を捕まえるときには全  
力を使って捕まえます。と  
ころが、小さい

ありませんか。なんでもない道端  
の雑草です。それを「よく見れ  
ば」です。ふと普賢菩薩の三  
昧で見たのです。三昧の眼で見  
てみると、世間の人々が桜に大騒ぎし  
て、浮かれ気分で見分けて花見に出かける  
が、だれも見向きもしない垣根の  
下に咲いているナズナも本当にき  
れいだ。と気づかされるのです。春  
になって咲く花は、桜に限らずナ  
ズナも水仙もホトケノザも踊子草  
もきれいだ。と自在に見ることがで  
きる、その働きを普賢菩薩は教  
えているのです。

普賢菩薩の「行願」が「三昧」  
という働きになったとき、私たち  
はナズナの美しさに気づくこと  
ができた。ごくありふれたこと  
も全力で取り組むことができる  
です。「金毛の獅子」となると  
日を過ごすことができた。毎日  
日充実した時を送ることができ  
るに違いありません。

新しい本堂の本尊様として、今  
はお釈迦様しかお祀りすること  
ができませんでした。本堂再建  
から、本尊様も釈迦三尊像を再

### ■「行願」から「三昧」

いネズミや動きの遅い獲物を捕ま  
えるときには、その大きな手を  
ちよつと振り回して、朝飯前とば  
かりに捕まえます。ところが、全  
身を金色の毛で覆われている金毛  
の獅子は、大きな象を捕まえる  
ときも小さなネズミを捕まえる  
ときも全力で捕まえるのだそう  
です。そこで、何事にも全力で  
当たることの大切さを説いてい  
るわけですが、まさに普賢菩薩  
の三昧にあたります。

お祀りしたかったのですが、予算  
の都合でお釈迦様にはさびしい思  
いをさせてしまいました。なん  
とか文殊菩薩と普賢菩薩の脇侍  
も招来するめどが立ちましたの  
で、その暁、手を合わされるとき  
には、「文殊は智慧、普賢は三  
昧」との言葉を思い出してお参り  
をしていただき、一日一日を「い  
のち三昧」にお過ごしただけ  
ば幸いです。

普賢菩薩(象)



釈迦如来



文殊菩薩(獅子)



# その六 僧堂で何してる？ ——二二修行道場の生活

## 僧堂の休暇事情

世の中、働き方改革で、強制的に休みを取らされる時代ですが、「修行は厳しいんでしょう、お休みはどれぐらいあるんですか？」と、心配性の人に聞かれることがあります。

伝統的な規矩を重んじる修行道場で、雲水がもらえる休みは月二回で、昔の奉公人と同じです。毎月十四日と月末には娑婆に出ることが許されています。

また、一年を二期に分けている修行期間が終わり、役割分担が代わる時には「交代休息」という二泊三日のお休みがただで、自坊に帰ることができます。

それ以外には、師匠からの暇乞いの申し出「暫暇書」(ざんかしょ)が提出されて、自坊の手伝いに帰ることができますが、これは手伝いですから休みといえるかどうかはわかりません。

月二回の休みがあるとはいえ、入門後の半年は一切娑婆に出ることは許されません。そんなとき、先輩がこっそり差し入れてくれる菓子パンがなによりおいしかった記憶があります。



把針と灸治ということ、針灸ではありません。縫い針を扱って繕いをし、灸で心身を整えるとの意味です。

## 把針灸治

身辺整備の休日

やがて僧堂には、激しい接心の始まる前ぶれとして把針灸治がやってきた。

各道場で多少の相違はあろうが、一年を雨安居(五月一日より七月末日まで)、雪安居(十一月一日より一月末日まで)の二期に分ち、禁足してひたすら修行に没頭する。この安居九十日間のシーズンに入ると、幾度も接心が行なわれるが、その接心が始まるという前日、身心整備のために設けられた日が即ち把針灸治。

この日はまず、衣服のつくりいや洗濯、もし、身体に故障があれば医者に行って治療し、細かい身辺に煩わされることなく接心一途に専念できる用意をする。いちおうこれが建前だが、みんな身の廻りはそこそこに倉皇と外出し、知人宅を襲い、または名所観光地を訪れたりして、存分に栄養補給や新しい世情認識を深めたりする。接心中のエネルギー放出に備え、思い思いに心ゆくまで充電に費やそうとする一日は、どうしても早く暮れてしまう。

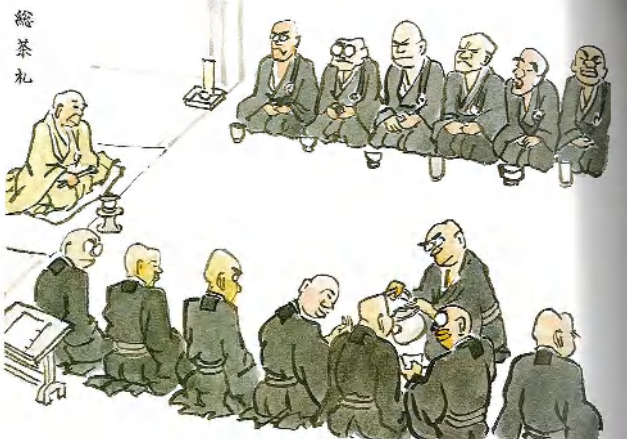
# 総茶礼

総員集合

「番茶の乾杯」は単なる儀礼にはとどまらず、全員の志気を一新する。総茶礼は僧堂生活の一区切ごとの大きなポイントといえよう。

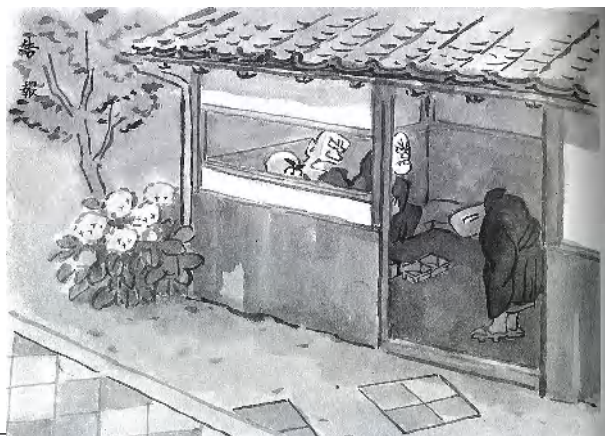
正面に老師の高茶台、左右に居流れた大衆の湯呑、それらに堂内側より順に薬罐の茶が注がれる。全員にわたるやいっせいに合掌しそろうて飲み干す。さらに順槌があつた後、老師の垂誡（訓示）がはじまり、次に知客の告報（諸注意）となる。総茶礼の場の枯淡と規律の作法や精神がかもし出す雰囲気は、和敬清寂以外の何ものでもない。

全員が師とともに同じ薬罐の茶をすするといふ行為が、何よりも同胞的な親睦を物語るが、いつも老師は垂誡で「こんこんと、和合僧第一」を説かれる。聖徳太子は「和を以って貴しと為す」と示されたが、今日ほどまた、全世界が国境や人種を越えて「和」を渴仰している時はないだろう。「和」こそまさに古今東西の三宝である。



総茶礼でお茶をいただくと言っても、ほんの一口で飲めるだけです。合図を忘れるとなみなみと注がれてしまいます。

先輩からの小言や叱咤叱声にはいっさいの口答えや言い訳は許されず、ひたすら聞いていなければなりません。「はい。」という返事すら不要だと言われてしまいます。



## 告報

気合注入

入制前夜の新到たちはさらにドギモを抜かれる。解定後、中単連中に休息所へ呼び出され、告報とてさんざん気合を入れられた。後輩指導の棒喝は臨済伝統の活作略、歯に衣着せぬ罵倒や痛棒も、ここでは憎悪や暴力に墮せず、後に何も残さぬが、新米には慈悲の策励もただの愕きでしかない。日ごろの小言もさりながら、今夜の念入りの説教にはまったく仰天した。実はこの中単連中もつい先刻、高単から存分油を絞られたところだ。

今の世に僧堂ぐらい上下の厳しいところも少なかろう。ここでは一日早い入門は一日の長、その年功序列の厳格さがきびしい道場規律を保つのかも知れぬ。だから、やっかいな仕事のほとんどもはまだ一人前扱いされぬ新到の肩にかかってしまう。そして、新到がたるむと中単が高単にどやされる。中単がたるめば高単が役位に、役位が老師にというふうな、理に叶った秩序と規則の上に、古来からのしきたりを土台とした切磋琢磨は、浮世離れでも往時の軍隊や近ごろのシゴキの理不尽な暗黒面はない。

# 檀信徒のための 新本堂・書院の使い方

## 一、法要会場として

### ① 交通アクセス

◎ 総武線稲毛駅東口から路線バス（一七〇円）

【一番のりば】

稲01〈あやめ台団地経由〉 草野車庫行

稲02〈草野車庫経由〉 こてはし団地行

稲09〈草野車庫経由〉 いきいきプラザ行

【四番のりば】

稲21〈第二あやめ入口経由〉

ファミールハイツ折返場行

稲22〈ファミールハイツ経由〉 草野車庫行

※右の系統のバスに乗って、「園生交差点」（そのうこうさてん）で下車。バス進行方向に歩いていただき、「びっくりドンキー」先の信号を左折して五十mで山門に到着します。

◎ 総武線稲毛駅東口からタクシー（七三〇円）

行先は、「穴川の圓福寺」です。基本料金で到着いたします。乗車時間は、五分ほどです。

◎ 総武線稲毛駅東口から徒歩

一、六七km、約二十分（下の地図を参考に。）







◎モノレール「穴川駅」から  
モノレール「穴川駅」へは、千葉駅から千城台方面行きに乗車して八分、二八〇円。進行方向左側の出口から千葉方面に下りて、徒歩三分。

◎自動車  
穴川インターからは、左図のルートでお越しください。二〜三分。

◎書院  
十八畳と十五畳の座敷です。基本的に椅子席でご準備します。人数に応じて仕切ることもできます。

◎本堂和室  
本堂の大広間に隣接して、八畳の和室が二間あります。当日の法要予定にもよりますが、少人数の場合はこちらをお使いいただくこともできます。基本的に座卓に座布団の部屋となっております。

◎法要  
※法要予定時間までお時間がない場合には、控室を使わずに、直接本堂に入ってください。

## ② 控室



## ③ 本堂法要

◎用意するもの（年回忌）

お位牌

遺影（任意）

生花（一束でも一對でも、またはアレンジメントでも構いません。）

お供え（故人がお好きだったお菓子や果物など。）

お塔婆（建てる場合には、前もって、建てる方のお名前をお知らせください。一本五千円になっております。）

※本堂用のお線香やろうそくは、本堂備付のものを使いますので、お持ちいただくなくて結構です。

◎持参するもの（忌明け忌）

忌明け忌（四十九日）の際には、右のほかに、「遺骨、白木のお位牌、お仏壇の開眼をされる場合には、ご本尊様をご持参ください。

◎法要

お時間になったら、本堂にご入室いただけます。なお、本堂は椅子席となっております。

般若心経・消災呪、本尊回向  
大悲呪、世尊偈、坐禅和讃、宗門

安心章などの読経中にお焼香、そして回向  
 お参りの人数にもよりますが、およそ二十分〜三十分ほどのお時間をいただきます。出齋（会食）がなければ、以上で法要はおしまいです。

④ 出齋（会食）



法要後の出齋（会食）もご用意することができません。  
おとき

法要後の移動がなく、遠方から来られた方や高齢の方がいらっしゃる場合には

は、ご負担を掛けることがないかと存じます。メニューがございますので、ご予算に合わせて選びの上、お寺までご連絡いただければご用意いたします。場合によっては、京都から本格精進料理店の出張料理を手配することも可能です。

飲み物もご用意がありますので、料理屋さんの係にお申し付けください。



# 一、葬儀式場として

## 提案「ご縁葬」

最近、「家族葬」なるものが横行しています。人に迷惑をかけたくないとか、華美にしたいくないとかの理由で、身内だけでひっそり送ってもらいたいというので、「家族葬」という新語が誕生したようです。

しかしながら、私たちの一生に思いを致す時、家族の中だけで生きてきたわけではありません。幼馴染や学生時代をともした友人、社会人になってからは会社の上司・同僚・部下、地域にあつては町内会の仲間、趣味の友人、飲み友達など、たくさんのご縁の中で生かされてきたことはいまでもありません。お通夜に来てくれた故人の幼馴染から悪がき時代の話聞かせてもらったり、家ではだらしないと思っていたのに会社では敏腕だったと聞かされたり、部下を育てるのが上手だったと教えられたり、人は決して家族の中だけの姿がすべてではありません。それを「家族葬」という名のもとに、故人の生涯の姿を狭めることは、身内のエゴのような気がしてなりません。

ん。

とはいえ、大勢の弔問客が来てくれたらおもてなしに莫大な費用がかかると思います。それは業者のいいなりになってしまったからです。

なにもお焼香に来られた方は、ご馳走を食べに来たわけではありませんし、大切な方を亡くされたご遺族が弔問客をもてなすような準備ができるはずもありません。人が亡くなることは、長患いにして、急逝にして、予測のつかないことで、失礼があつて当たり前なのです。それを業者が、失礼のないようにとか、故人様のためですからとか、最後の〇〇ですからという決まり文句を使って、葬儀費用、飲食代がかさんでしまうので、少人数でやるうとする「家族葬」が広まってきたに違いありません。

そこで、圓福寺からの提案です。

お葬式は失礼があつて当たり前と腹をくくつて、故人に縁のある人にはできるだけお知らせをして、お見送りしていただく「ご縁葬」はどうでしょうか。故人生前の「ご縁」に感謝して、旅立って行けると思つたのですが・・・。

## ① 逝去

### ◎ 葬儀社への連絡

病院で亡くなられた場合、病院からご遺体を安置場所まで搬送しなければなりません。お寺にご連絡いただければ、信頼のある誠実な葬儀社をご紹介します。

### ◎ ご遺体の搬送と安置

ご遺体をご自宅にお連れするか、あるいは葬儀式場となるお寺に安置するのかが相談ください。葬儀まで日数がある場合には、葬儀社に預かっていただくこともできます。

お寺の場合には、書院または本堂の和室に、お通夜までの間安置させていただきます。お通夜の前に納棺をして、葬儀式場となる本堂の内陣、本尊様の真前に移動させていただきます。

### ◎ 打ち合わせ

ご遺体を安置して、故人が落ち着かれたら、お寺と日程の打ち合わせをして、葬儀社と式内容や費用の打ち合わせをします。内容・日程が決まったら、お知らせすべきところにご連絡をしなければなりません。

## ② 通夜

### ◎ 本堂

葬儀社のホールなどで行う場合には祭壇を用意しなければなりません。本堂の場合は特別な用意は不要です。お供えの生花があれば、それだけで十分だと思います。

また、お参りの方の人数により、全員が本堂に座っていただくのか、あるいはお焼香だけしていただくのかによって、椅子席の配置やお焼香の場所などを自由に変えることができます。

### ◎ 参拝者の流れ

遺族・親族は本堂内の椅子席に座っていただきますが、一般のお焼香だけ帰られる方は、駐車場・受付・本堂前でお焼香・本堂左側の階段を下りてお帰りいただくというスムーズな動線が確保できます。階段下に外用のトイレもありますので、ご不便はありません。



### ◎ 通夜式

菩提和讃や観音経などの読経と通夜回向。懺悔文・三帰戒をと覚えて

戒名授与のご準備の読経をすることもあります。読経中に遺族・親族のお焼香、一般の方のお焼香となります。



お焼香後の通夜振舞い（会食）は、書院の椅子席で行います。食事のご用意は、お寺または葬儀社にご相談ください。

お通夜として、故人のおそばで一晩過ごされる場合には、貸布団を手配いたします。また、浴室もごさいますので、翌日の葬儀に備えて身を清めることもできます。

## ③ 葬儀・告別式

### ◎ 葬儀・出棺

剃髪の偈、出棺諷経、龕前念誦十仏名、引導、世尊偈などで葬儀を執り行い、お参りの皆様にはお焼香お参りをしていただきます。

菩提寺の本堂でお参りを終え、故人は本堂正面から火葬場に向けて出発となります。ご自身の菩提寺またはご宗派のお寺から旅立たれることは、故人にとってははなによりの安心かと存じます。

◎初七日・お斎（おとき）

最近では葬儀式の中で初七日まで済まされる方が多くいらつしやいます。そして、火葬場に行き、火葬をしている間にお斎をいただいでお開きにされるようです。

みなさんがお忙しいでしようから、そのようにされるのも仕方ないかもしれませんが、火葬後に本堂に戻ってご遺骨を安置して初七日の法要をされてはいかがでしようか。葬儀・告別式・火葬・初七日と一連のお参りを終えて、故人にもお斎をお供えして、故人を偲んでお斎（会食）に着かれるのが正式な作法だと思ひます。



◎葬儀のあと

百か日・四十九日（忌明け忌）については、前記の法要のページをご覧ください。その後、初盆などのお参りがございますが、圓福寺では初盆の供養を「山門施餓鬼会」で執り行っております。その際には、遺族だけでなく、ご親族の方々にもお声がよろしいかと存じます。

## 三、結婚式場として

◎仏前結婚式

結婚式といえば、神前結婚式、教会式結婚式、宗教色のない人前結婚式などがあげられますが、お寺で執り行う「仏前結婚式」というものもあります。

新郎新婦が主役であることに変わりはありませんが、結婚にあたって心身を清め、仏法の教えに従って家庭を築いていくことを誓い、そして両家の先祖へのご報告すること、いのちをいただいでいることへの感謝、これから新たないのちに恵まれることの大切さに気づくということ、が式の肝要なところとなっております。

◎式次第

本尊回向

浄めの儀

新郎新婦の心身をお浄めいたします。

睦みの儀

数珠・指輪の交換をします。

帰依三宝

お釈迦様をはじめとする  
仏様、仏教の  
教え、夫婦は  
もとより家  
族・親戚・友  
人などとの和  
合という三つを守っていく誓いを  
立てていただきます。



誓いのことば

新郎新婦が誓いのことばを読み上げ、両家の先祖に結婚のご報告を致します。

寿杯の儀

三々九度の杯を交わします。

戒師おさとし

式をつかさどる戒師様からおさとしとお祝いのお言葉をいただきます。

四弘誓願文

仏教徒の大切な誓願をおとなえ致します。

# 別世帯の家族に、 寺報を送りませんか？

いつも、つたない寺報をお読みいただきありがとうございます。

かつて「核家族」なんていう言葉が流行語にもなりました。近年では、世帯構造の約六割が核家族といわれ、特に都市圏では、親子三世代や四世代は少ない傾向にあります。子どもが結婚をすれば別世帯を構えるのが当たり前、仕事の転勤で遠く離れた場所に一人暮らしの子どもがいる、近くには住んでいるがあまり顔を出さないなど、世帯構造は多様化しているようです。そんな影響もあるのでしょうか、

- ◎ 親がどんなお寺とお付き合いがあるのかわからない。
  - ◎ 自分の家の宗教や宗派がわからない。
  - ◎ 親がどこにお墓をもっているのかわからない。
  - ◎ 親のお墓をだれが見るのかわからない、決まっていない。
- などの問題が現実起こっています。そこで、別世帯の家族に、せめて寺

報を送って、お付き合いのあるお寺のことを知っておいてもらうようにしてはいかがでしょうか。送料は、お寺や花園会で負担いたします。

ご希望の方は、送り先のご住所、お名前、続き柄をお寺までご連絡ください。

## 墓地の空きがあります。

墓地を移転される方や永代供養塔「涅槃精舎」に改葬される方がいらして、空きができました。ご希望の方は、お寺までお申し出ください。

- 【広さ】 五尺（一五〇cm）×三尺（九〇cm）
  - 【区画数】 四区画
  - 【永代使用料】 一〇〇万円
  - 【墓地管理費】 年三千元
  - 【花園会費】 年一万元
- （どうしても広い区画をご希望の方は、お寺までご相談ください。）

### 平成30年度花園会会計報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

	科目	金額	備考
歳入	前年度繰越金	309,729	
	お寺より活動費	1,355,000	
	行事収入	301,842	土曜会、地蔵盆、禅童会・新年会・写経会などの参加費を含む
	雑収入	10,007	彼岸法話会東京教区補助金・預金決算利息
	歳入合計	1,976,578	
歳出	宗派賦課金	173,500	本山納付花園会費、災害見舞金ほか
	行事費	361,417	地蔵盆・禅童会・土曜会・写経会ほか
	事務費	298,786	事務謝礼、行事案内状の印刷費・郵送料など
	会議費	216,150	月例役員会ほか
	研修費	187,069	東京教区第7部役員研修、役員研修費
	慶弔費	0	
	寄付金	400,000	お寺へ仏具購入費用として寄付
	雑費	0	
	歳出合計	1,636,922	
剰余金の ¥ 339,656 は次年度繰越金としました。			

例年なら二月二十四日あたりの金・土・日が四国あるき遍路となりますが、その日が伽藍再建落慶法要だったので、第六回は三月に入ってからの歩き遍路となりました。落慶法要を終えた安堵と疲労感、そして残務整理を後回しにした後ろめたさを抱えての遍路ですが、こんなに待ち遠しく思った遍路もありません。落慶法要当日に合わせたかのような満開の梅も見たし、四国も少しは暖かいかもという予想に反して、飛行機から見た富士山はまだ雪化粧。

文部省唱歌「富士の山」の作者もこんな景色を見たのでしょうか。それにしても、見事に、雲の上に頭を出した富士の山でした。

第六回

三途目

四国あるき遍路の旅

平成三十一年三月一日〜三日



旅の記録

期日	曜日	コ	一	ス	予	定	食事・宿泊
1	3月1日	金	8:05 羽田空港 ANA561 9:35着	高知龍馬空港	10:50発 空港連絡バス	10:15着 高知駅	【歩いた距離】10.5km
			11:39発 JR土讃線「南風3号」 中村駅	13:24着	13:39発 高知西南交通	15:45着 真念庵	宿泊：民宿「大岐の浜」 高知県土佐清水市大岐182 0880-82-8304
2	3月2日	土	13:57着 津倉瀬バス停 一徒歩一 約6.0km 16:00着	市野瀬バス停	16:03発 高知西南交通	16:20着 小浜バス停 一徒歩一 約0.1km	【歩いた距離】26.8km
			7:00~ 朝食 民宿「大岐の浜」 8:30発	約17.8km	9:20着 下港山バス停	ボンカンのお接待をいただく。	一徒歩一 15:00着
3	3月3日	日	9:50着 以布利の水族館	以布利の海岸のへんろ道	津呂へんろ小屋	38番金剛福寺	【歩いた距離】13.3km
			8:00発 38番金剛福寺 一タクシー分乗一	真念淵路道入口	一徒歩一	10:05着 地蔵峠	一徒歩一
			10:38着 江ノ村大師堂	かろひい亭でランチ	約5.7km	13:00着 有岡駅	【歩いた距離】50.6km
			13:06発 有岡駅 土佐くろしお鉄道	13:20着 中村駅	13:24発 土佐くろしお鉄道 特急あしずり6号	15:04着 高知駅	
			15:40発 高知駅 空港連絡バス	16:14着 高知龍馬空港	17:55発 ANA570	19:15着 羽田空港	

「伊豆田へんろ道」へ

第五回で、窪川の三十七番岩本寺も終えているので、高知空港からまずは中村まで移動。中村駅から一息に足摺岬まで行ってもいいようなものを、津倉渕でバスを降りて、伊豆田道という古い遍路道を歩くことにしました。古い道もさることながら、「真念庵」をお参りしたかったのです。四国札所に十八の番号を振って、現在の十八か所の札所を確立した真念さんへ、三巡目にしてようやくのお礼参りです。まあ、落慶法要の支度などで運動不足の身に



らくは舗装道路が続きます。車が来ないのはありがたいのですが、こんな舗装道路を歩いて真念庵に着くのなら、わざわざバスを途中下車してまで歩く所じゃなかったかな、なんて思いが頭をかすめたころ、ようやく古い遍路道への道しるべが見えてきました。

峠までの距離はさほどではありませんでした。が、下りは本格的な山中のへんろ道。たかだか標高260mほどの下りと侮ることなかれ！遍路道をふさぐように木が倒れ、それをまたいだりくぐった

は、軽く足慣らしといったところでしょうか。国道から、この先行き止まりと案内のある旧道に入っても



【伊豆田峠のこぼれ話】伊豆田峠を舞台にした映画があったそうです。「雲がちぎれる時」という新藤兼人さん脚本、主演佐田啓二、相手役が賠償千恵子。峠を通るバスの運転手と車掌のラブロマンス。クライマックスでは、峠からバスが転落して運転手が亡くなり、二人の恋は悲劇に終わるものです。船でしか越せなかった伊豆田の山に道路が開通したとはいえ、険しい難所だったことがうかがわれるこぼれ話でした。

りの連続でした。遍路道は、どなたかが倒木を伐採して片づけたりという目に触れないお接待をしていてくれるのですが、この道はあまりお遍路さんが歩かないルートになってしまったのか、または西日本豪雨の被害の後で道普請がまだ手付かずなのか、と思いつつ歩かせてもらいました。

### 純な砂浜

二巡目では、バスの車窓から眺めただけでその先の以布利から歩きましたが、今回は大岐海岸を歩くことができました。国道から下りて、簡素な木の橋を渡ると、以布利まで砂浜が続きます。砂浜といえども、砂が締まっているところがあるという



のがこれまでの経験でしたが、この浜はどこを歩いてもふかふかでした。以布利までの約一・六km、足をとられながら額には汗でした。おそらく、自然環境がいいので、砂浜が締まるような不純物が無いのだろうと、素人考えをした大岐海岸でした。

### 苦あれば楽あり

以布利の手前、下港山の国道に出ると、バス停前に露店が出ていました。ポンカン・文旦などを売っています。すぐに店主と思しき方が、ポンカンを抱えてきてお接待とのこと。汗をかいて砂浜を歩いてきた身には、のどを潤す甘露でした。



### 足摺東海岸に行く

金剛福寺に向かう足摺の東海岸は、以前より道路整備が進んだとはいえ、途中には乗用車一台がやっと通れるような箇所もあり、裏街道と言った方がいいかもしれません。とはいえ、歩き遍路たちにとっては、遍路道が整備されていて、東海岸こそメインのルートなのです。地図でみたら海岸沿いに思え





ますが、海岸線はそそり立つ岩場なので道はなく、遍路道は断崖絶壁の上の山中のアップダウンとなります。しかも、足摺は水が豊かなので、谷底に下りると溪流がながれ、丸太橋を渡ると厳しい登りとなるのです。丸太橋はどこも腐りかけており、結局は川床の石を飛び跳ねて渡るしかありませんでした。



途中、地図に載っていない遍路道もあり、自動車道路だけでなく、遍路道も整備が進めら

### 足摺にたどり着く



【津呂のへんろ小屋】東海岸の真ん中あたりに、無料で宿泊もできるへんろ小屋があります。管理人は、民宿「大岐の浜」にいた人で、実は、連載漫画を執筆していた方だそうです。小屋を拝借して、民宿のお接待でいただいたおにぎりをいただきました。

れ、古い道を復元したりしているのだと実感することができました。



きました。  
二日目の宿は、三十八番札所の金剛福寺宿坊です。なんと冬季休業を終えて三月一日からの宿坊再開で、しかも最初のお客さんだったそうです。そんなわけで歓待していただき、取れたてのぶりをいただきました。翌朝には途中まで車で送っていただいたりと、本当にお世話になりました。

### 覚悟の3日目

天気予報は雨一〇〇%。最初から雨具を覚悟していたのに、霧雨が少し降っただけで、雨にも濡れずに歩くことができませんでした。きつと、昨日真念庵にお参りした功德で、真念さんが雨を降らせなかったのでしょうか。助かりました。



### 覚悟の下り

足摺で出発の時には強風が吹いていたので、山中の下りのへんろ道は大変だろう、しかも雨でも降っていたらと、こちらでも覚悟しておりましたが、足摺から離れた内陸部は風もなく、地藏峠からの下りのへんろ道も拍子抜けするぐらいに快適な道でした。

あとは有岡の駅まで行って帰路に着けばいいのですが、そろそろ昼ごはんの時間です。駅前なら何かあるというのには四国ではあてにならない苦い経験から、スマホで探すと国道に出て少し戻ったところに喫茶店があるだけででした。それでも店があ



【真念さん】高知出身の江戸時代前半の僧侶。昔の四国八十八ヶ所はルールが定まっていない、道が険しい、地図が無い等、一般人が到底回れるようなものではなく、修行僧など限られた人たちしか歩くことができませんでした。自らお大師さんの足跡を歩くこと二十回の経験から、「真念庵」という通夜堂を建てたり、へんろ石と言われる道標を建立したり、「四国遍路道指南」という案内書も出版し、札所に番号を付けた真念は、遍路の父とも言われる。

れば御の字です。温かいコーヒ一でも飲んで空腹をまぎらわそうかと思ったら、なんと自家焙煎のコーヒ一専門店。まだモーニングサーブもあるし、ランチもあるし、歩き遍路ではありえないような昼食を食べて、無事歩き終えました



### 第五回のあじがきから

金剛福寺の奥さんいわく、「四国の人、日曜日には働かないんですよ。」というので、3日目、田舎の集落到タクシーを手配するのは無理があるかなと、足摺からタクシーに分乗しようと思ったのは正しい判断でしたが、案の定タクシーの運転手さんが見つかりません。困っている私たちに奥さんが救いの手を差し伸べてくれて、ようやく見つかったタクシー1台とお寺の車で、真念へんろ道の入口まで送っていただくことができました。

観光地足摺でありながら、日曜日の書き入れ時に働かないとはどういうことかといぶかしんでいると、こちら辺でタクシーを使うのは、病院に行くお年寄りぐらいで、そのため病院が休みの日曜日は仕事がないのだそうです。

お寺の目の前のホテル廃墟とともに、高齢社会と観光地の衰退を目の当たりにして、社会勉強にもなった今回の歩き遍路でした。

次回は、伊予の国に入ります。どんな、地域の問題に出くわすでしょうか。



1日目に歩いた場所です。

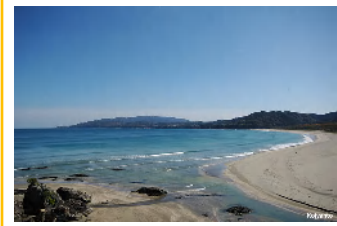
3日目に歩いた、「真念遍路道」です。



2日目に歩いた場所です。



「大岐の浜」



足摺岬



## 参加者募集

第7回

3巡目

# 四国あるき遍路の旅

約20名

第七回は、高知最後の三十九番から、宇和島周辺四十三番までお参りして、松山空港から帰ってきます。

【日程】十一月十五日(金) ~十七日(日)

【旅程】飛行機にて高知へ。三十九番最寄駅まで電車で移動。県境の松尾峠を越えて、親先宿に宿泊。  
二日目は四十番までバス移動。その後、バス・徒歩などで宇和島へ。大乗寺専門道場参拝後、宇和島泊。

三日目は四十一番から四十三番まで歩きます。三日間で約三十五km歩く予定です。

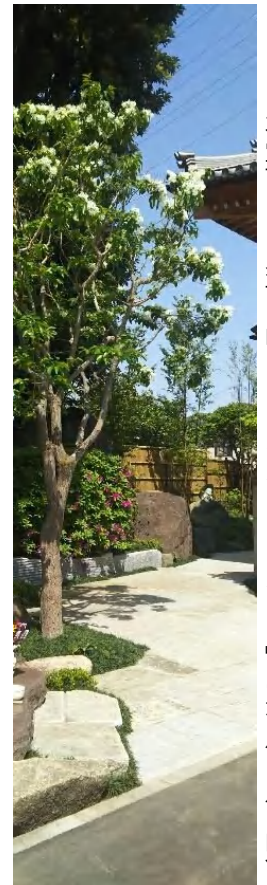
【参加費】五万円前後

【申込】お電話・メールなどで、お寺までお申込下さい。  
その他、何なりとお問合せください。

平成三十一年上半期  
お寺と和尚の日報抄

1月	2月	3月
1日	3日	1日
1日	4日	2日
3日	5日	3日
修正会	宇和島大乘寺、露香室大師来山	四国あるき遍路の旅(三巡目第6回)
平林寺江楓室老大師、落慶法要拝請	幼稚園、涅槃会	平林僧堂会下会 於浅草
スマートコミュニティ、「写経会」	宇和島大乘寺、露香室大師来山	平林寺、江楓室老大師相見
幼稚園、年中組市原たんけん隊	幼稚園、會計監査	幼稚園、市原ボランティア「Q園隊」
落慶法要衆評(打ち合わせ)	スマートコミュニティ、「写経会」	写経会
幼稚園、年長組市原たんけん隊	寺号額取り付け工事	博多聖福寺、芙蓉庵老大師答礼
花園会新年会	伽藍再建落慶法要、春彼岸法要	スマートコミュニティ、「写経会」
幼稚園、年少組市原たんけん隊	四国あるき遍路の旅(三巡目第6回)	幼稚園、卒園式
スマートコミュニティ、「写経会」	平林僧堂会下会 於浅草	土曜会「春彼岸法話会」
幼稚園バザール「くすのきまつり」	平林寺、江楓室老大師相見	取手長禅寺、春彼岸法要
写経会	幼稚園、市原ボランティア「Q園隊」	スマートコミュニティ、「写経会」
幼稚園、涅槃会	写経会	
宇和島大乘寺、露香室大師来山		
幼稚園、會計監査		
スマートコミュニティ、「写経会」		
寺号額取り付け工事		
伽藍再建落慶法要、春彼岸法要		
四国あるき遍路の旅(三巡目第6回)		
平林僧堂会下会 於浅草		
平林寺、江楓室老大師相見		
幼稚園、市原ボランティア「Q園隊」		
写経会		
博多聖福寺、芙蓉庵老大師答礼		
スマートコミュニティ、「写経会」		
幼稚園、卒園式		
土曜会「春彼岸法話会」		
取手長禅寺、春彼岸法要		
スマートコミュニティ、「写経会」		

4月	5月	6月	7月
7日	9日	2日	7日
10日	25日	3日	10日
11日	26日	4日	11日
18日	27日	5日	12日
20日	28日	6日	13日
11日	29日	7日	14日
11日	30日	8日	15日
写経会	幼稚園、年中組市原たんけん隊	幼稚園、年中組梅収穫 於市原別院	幼稚園、入園式
スマートコミュニティ、「写経会」	幼稚園、茶室開き	幼稚園、決算監査	スマートコミュニティ、「写経会」
取手長禅寺、観音まつり	幼稚園、年少組市原たんけん隊	スマートコミュニティ、「写経会」	土曜会「仏教シアター」
土曜会「房総旧道、観音まいり」	第46回花園会ゴルフ大会(中止)	幼稚園、市原ボランティア「Q園隊」	幼稚園、市原ボランティア「Q園隊」
幼稚園、市原ボランティア「Q園隊」	土曜会「市原ボランティア」	東京教区第七部内会	スマートコミュニティ、「写経会」
スマートコミュニティ、「写経会」	幼稚園、「花まつり」	スマートコミュニティ、「写経会」	山門施餓鬼会
幼稚園、「花まつり」	幼稚園、年長組市原たんけん隊	七月盆棚経	ポロイスカウト合宿 於市原別院
幼稚園、年長組市原たんけん隊	写経会		
幼稚園、年中組市原たんけん隊			
幼稚園、「O庵」茶室開き			
幼稚園、年少組市原たんけん隊			
第46回花園会ゴルフ大会(中止)			
土曜会「市原ボランティア」			
写経会			
幼稚園、年中組梅収穫 於市原別院			
幼稚園、決算監査			
スマートコミュニティ、「写経会」			
土曜会「仏教シアター」			
幼稚園、市原ボランティア「Q園隊」			
東京教区第七部内会			
スマートコミュニティ、「写経会」			
山門施餓鬼会			
七月盆棚経			
ポロイスカウト合宿 於市原別院			



本堂前に、見事に咲いた「なんじゃもんじゃ」の花(5/4頃)

## 緑のとこやさん

(平成三十年七月の「園だより」から)

かつて、庭で植え木の剪定をしていると、幼稚園の子どもたちが寄ってきては、垣根越しに「何してるの?」とよく聞かれました。「お花や木の床屋さんだよ。」と決まって答えていました。

このところ、梅の収穫が終わった梅の木のとこやさんをしています。昔から、「桜切るバカ梅切らぬバカ」ということわざがあるように、梅を切らずに



放置しておく  
と余計な枝が  
四方八方に伸  
びてしまい、  
いい花芽がつ

かない、つまりは梅の実の収穫に影響が出てしまいます。それだけでなく、枝が伸びすぎると葉っぱが茂りすぎて中の方に日が届かなくなり、虫がついたり病気になったりします。そこで、梅の木には剪定が欠かせません。



いたり・・・、子どもの成長も方向性を明確にすること、善悪をきちんと教えること、葉っぱが茂りすぎないように過度の期待を持つたり、たくさん目標を与えすぎないこと、少し余裕があつて中まで日が差し込むようにしたら、子どもの心が見えてくるようではありませんか。

年長さんが小豆の間引きに行くそうです。密生して発芽した新芽を間引いて、栄養を分散させないで立派な小豆を収穫するためです。周りの芽を傷めないで間引きできたら、立派な緑のとこやさんなのです。が、どうなることでしょうか?



# お授戒のすすめ (因縁戒)

授戒会とは、私たちが仏教徒として、今日を正しく、明日を明るく過ごしていけますよう、戒師さまから直接教えを受けてお釈迦様の定められた真実の決まりである「戒」をお授けいただき仏弟子となる大切な儀式です。

仏教は、仏さまの御教えをもとに人間らしい生き方、本当の幸せを自覚し、しかも力強く生きていく生き方の教えです。平素は知らず知らずのうちに、ともすれば正しい生き方にそむきがちの私たちですが、戒師(管長)

さまのお導きにより、これを反省するだけでなく、日頃の煩い悩みも解消して、二度とない人生を、調和と信心に満ちた暮らしにしてゆこうではありませんか。

妙心寺派東京教区では、今秋十月、大本山妙心寺派管長猊下のお出ましを仰ぎ、多数のご住職方の参加をいただいて、授戒会を厳修することになりました。どうぞ檀信徒有縁の皆さまには、この機会を逃さず、ぜひご参加の上、尊い法縁を結んで下さるようおすすめ申し上げます。

● 厳修日 二〇一九年十月三日(木) 午前十時より午後四時ころまで

● ところ 平林寺 埼玉県新座市野火止三―一―一

今回会場となる平林寺は、僧侶育成の専門道場を併設する室町時代から続く名刹です。島原の乱、明暦の大火の処理などで活躍し、知恵伊豆と讃えられた江戸時代初期の老中で川越藩主松平信綱の墓所をはじめ数々の文化財を擁し、武蔵野の面影を残すおよそ十三万坪の境内は雑木林としては唯一の国指定天然記念物に指定されています。

## 因縁戒

亡くなられた方々のために、その縁につながる方が代わって戒をお受けになることを因縁戒と申します。ご先祖様の追善の回向もまた仏縁を深めることとなります。なつかしい方のためにこの機会に因縁戒をお受けください。

因縁戒料 (一霊につき) 参千円

# 禅を学ぼう 仏教を学ぼう

妙心寺派管長 小倉宗俊猯下による提唱がございます。  
また、講義だけでなく、実践行として坐禅や読経、修行道場の作法に準じた粥座(朝食)も体験できます。ぜひご参加ください。

提唱

妙心寺派管長  
小倉宗俊猯下



第20回

# 夏季講座 参加者募集中!

150名(先着順) 締切 令和元年7月31日(水)必着

主催 花園会本部 共催 花園大学

## 全日程コース

令和元年8月30日(金)~9月1日(日)

26,000円

宿泊・講義・テキスト代など含む

## 1泊2日コース

令和元年8月31日(土)~9月1日(日)

17,000円

宿泊・講義・テキスト代など含む

### 受講生の声

- 今回の坐禅や講座を通して体験したことを普段の生活にいかしていきたいです (60代 男性)
- 理解してゆくうちに楽しくなり、もっと勉強したいと思えるようになりました (40代 女性)



ご予約 お問い合わせ

花園会本部 夏季講座事務局

TEL 075-463-3121 (代表)

FAX 075-464-9586

住所 〒616-8035 京都市右京区花園妙心寺町64

URL <http://www.myoshinji.or.jp/>





子どもたちのお盆

# 地藏盆のご案内



8月24日(土)

ポランテラススタッフも募集中です。  
お手伝いいただける方は、お寺まで  
ご連絡ください。

午後5時	供養受付(本堂前にて)
5時半	水子・ペット・人形供養
6時	御霊送り
8時	模擬店閉店・地藏盆終了



## ご供養のご案内

地藏盆では、水子供養とペットの供養、人形の供養とお焚き上げをしております。供養をなさりたい方は、添付の申込書を郵送して下さるか、お電話にてお申込下さい。

### \* 供養料

水子	一霊位	三千元
ペット	一霊	千円
人形	一体	千円

\* 供養料は当日の受け付けです。



山岡鉄舟母堂のお地藏さんにちなんで毎年開催されてきた「地藏盆」ですが新しい伽藍での再スタートです。  
参道の両側に、「禅重会」に参加した子どもたちが作った灯籠が飾られ境内のわらべ地藏たちにお灯明があげて、本堂では、水子供養、ペット・人形の供養。そのお灯明を頂いての「みたま送り」、幼稚園児の盆踊りとなります。

## お品書き

手作りの焼きそば、  
炭火やきどり、山  
形産玉こんにゃ  
ク、昔なつかしの  
駄菓子 かき氷 冷  
たい生ビール、  
ジュース、こころ  
しずかに野点の一  
服、その他